



よろしくお願ひします

新年を迎え、昨日から3学期が始まりました。数日前から降った雪で、冬を満喫できそうな校庭が子どもたちを待っています。寒さに負けず、子どもたちの元気な声が響くことを楽しみにしています。

3学期の授業日数は、1～4年生は43日、卒業式のため5・6年生は44日です。とても短い3学期ですが、1年間の学習や活動、生活のまとめをし、次の学年、中学校への目標をしっかりとつても大切なものです。「何ができるようになったか」「どんな力がついたか」をしっかりと実感させ、「自分をもっと成長させるために必要なことは何か」に子どもたち自身が気付いていくよう、子どもたちの学びを支えてまいります。

始業式では子どもたちに

とても短い3学期

「あたたかい気持ち」を大切にして

みんなが楽しい 「やさしい言葉」

みんながうれしい 「思いやりある行動」

で たくさんの明るく元気で楽しい笑顔を
にっこにこに咲かせていきましょう。



と話しました。

煙山小学校が子どもたちにとって「学びたい学校」「自分を表現できる学校」であるには、子どもたちが安心できる「あたたかい人間関係」が欠かせません。ですが、その「あたたかい人間関係」をどう築くかは、たくさんの失敗からしか学ぶことはできません。「あたたかい人間関係」を築こうとしながらも、友だちとトラブルになってしまったり、迷ったり失敗たりした経験と、その経験をどう生かすかが大切な学びなのです。

「あたたかい気持ち」という目標に向かい、「やさしい言葉」「思いやりある行動」というアイテムを使い、子どもたちが「あたたかい人間関係を築く力」を高める3学期にしたいと思います。

また、児童会代表の6年 谷崎 結月さんが「冬休みに頑張ったこと」を次のように発表しました。

みなさん、充実した冬休みを過ごすことはできましたか。ぼくは中学校へ向けての準備をがんばりました。

中学生になって、小学校の勉強が頭に入っていないと勉強についていけないので、冬休みは復習をたくさんしました。特に苦手な漢字を丁寧に書けるようにたくさん復習しました。

また、家庭での手伝いも頑張るようになりました。中学生になり、部活の送迎などで今より迷惑をかける親に感謝の気持ちを込めて手伝いをするのは大切だと思ったからです。雪が降った日は自分から進んで雪かきするなどするようになりました。

3学期は、次の学年に向けての準備をしていきましょう。

ぼくは、中学校に向けて苦手なことや基本的なことの復習を頑張りたいです。廊下歩行や言葉遣いなど、全校のお手本になれるような生活も頑張っていきたいです。

3学期、どんな笑顔が煙山小学校に咲いていくのでしょうか。どうぞご期待ください。